

図書広報委員の活動報告



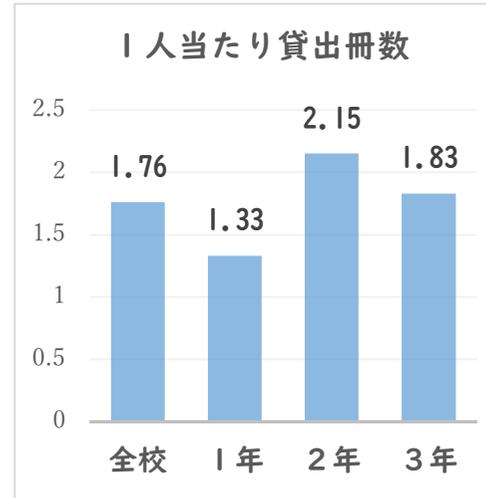
県立図書館と高校図書委員会との連携展示

『若者よ本を抱け 2025 高校図書委員がお薦めする本』
展示期間：12月16日(火)～2月14日(土)

県内各地域の17の高等学校の図書委員と連携。加茂水産も3名が参加しています。

お気に入りの図書を直筆のPOPで紹介しています。
思わず手に取りたくなるPOPが並び、多くの本が貸出中です。
県立図書館に足を運ぶことがあれば見に行ってみてください。

貸出統計（期間：2025.4～12）



【貸出傾向】

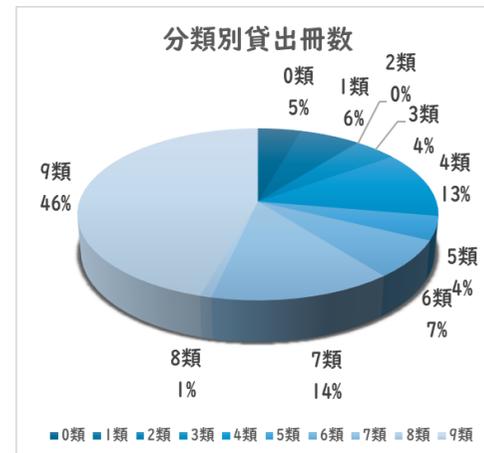
各学年別にみると大きな差はみられない。

1年生オリエンテーション、地域学習、3年生国語表現での授業利用があった。2年生は授業での利用は少なかったものの、個人貸出の冊数が今年度は伸びている。乗船中に進路に関する本をじっくり読む機会を作っている生徒もみられた。

【分類別貸出】

小説・物語の貸出は例年通り。7類の漫画の種類が増えてきているが、新刊が出ないことで伸び悩んでいる。4類生物、6類水産関係の本の貸出が例年より少ないのが残念。

新書の目次から気になる見出しを読む「味見読書」で興味関心がある知識をより増やして進学就職につなげてもらいたい。



新刊紹介

『さよならジャバウォック』伊坂幸太郎 双葉社

<デビュー25周年>渾身の書き下ろし長編ミステリー!結婚直後の妊娠と夫の転勤。その頃から夫は別人のように冷たくなった。彼からの暴言にも耐え、息子を育ててきたが、ついに暴力をふるわれた。そして今、自宅マンションの浴室で夫が倒れている。夫は死んだ、死んでいる。私が殺したのだ。



『美しい、詳しい世界のクラゲ図鑑』

リサ=アン・ガーシュイン エクhsnatz

美しい姿や動きの秘密、思いもよらないふえ方
他の生物との関係性や、人間社会との関わりまで
人を魅了するクラゲのすべてが分かる、クラゲ図鑑の決定打!

『成瀬は都を駆け抜ける』宮島未奈 新潮社



唯一無二の主人公、膳所から京都へ! 令和最強の青春小説シリーズ堂々完結! 高校を卒業し、晴れて京大生となった成瀬あかり。一世代の恋に破れた同級生、達磨研究会なるサークル、簿記 YouTuber……。新たな仲間たちと出会った成瀬の次なる目標は「京都を極める、!」一方、東京の大学へ進学した島崎みゆきのもとには成瀬から突然ある知らせが……。最高の主人公に訪れる、究極のハッピーエンドを見届けよ!

『わたしのbe 書きたび、生まれる』佐藤いつ子 KADOKAWA

容姿に自信がない高校1年生の文香は、高校デビューを夢見つつも、自分を変えるきっかけがつかめず、消去法で書道部に所属している。そこで出会ったのは、ひときわ端正な顔立ちをした佑京だった。書と真剣に向き合う彼の姿に惹かれた文香は、やがて書道そのものに魅せられ、のめり込んでいく。

『日本漁業の不都合な真実』佐野雅昭 新潮社



日本漁業が危うい。担い手は減り続け、生産量は40年前から7割減、30年後には漁業者がいなくなり、日本人の食卓から国産魚が消えるという声もある。中国との漁獲競争、温暖化による環境変化、エネルギーコスト上昇など、かつて世界一の漁獲量を誇った漁業を取りまく状況は極めて深刻だ。輸出拡大や企業進出、資源管理など、国が進める水産業改革は本当に有効なのか—漁業と魚食文化を守るために、渾身の論考!



『spring another season』恩田陸 筑摩書房

恩田陸の新たな代表作・バレエ小説『spring』への熱いアンコールにこたえた待望のスピノフ刊行!

“けれど今、こうして僕らは一緒に踊っている。戦っている。互いを理解するために、対話するために。二人の神に近づくために。”



『チ。地球の運動について—第7集・第8集』

魚豊 小学館

真理に命を懸けた者達の物語、堂々完結。

「地動説」出版を目前に、審問官達に追い詰められつつも仲間の犠牲により包囲網を抜け出せたドウラカとシュミット。しかしノヴァクが迫りくる!!

一縷の望みを懸け、ドウラカ達が向かう先とは。

「真理」に命を懸けた者達の、そして「地動説」の結末は!?

来年度、図書館に入れて欲しいマンガがあれば教えてください
希望をすべて購入はできませんが、購入の参考にします